

アルカリシリカ反応抑制対策

コンクリート中のアルカリ総量を規制

工 長 品管責任者 試験係

和光産業(株)鳥取工場

森

清水

堀江

(令和 7年 8月度)

[アルカリ総量の計算表]

設計基準強度 30.0—12—15

① セメントの全アルカリの直近6ヶ月の最大値%	(令和 7年 3月～令和 7年 8月)	0.60
② 単位セメント量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	372
③ 1m ³ 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m ³)	②X①/100	2.23
④ 細骨材(加工砂)中のNacl量%		0.001
⑤ 単位細骨材(加工砂)量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	700
⑥ 1m ³ 当たりの細骨材(加工砂)中のアルカリ量(kg/m ³)	0.53X④X⑤/100	0.00
⑦ 粗骨材中のNacl量%		0.000
⑧ 単位粗骨材量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	1078
⑨ 1m ³ 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m ³)	0.53X⑦X⑧/100	0.00
⑩ 混和剤中のアルカリ量%		0.4
⑪ 単位混和剤量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	3.35
⑫ 1m ³ 当たりの混和剤中のアルカリ量(kg/m ³)	⑩X⑪/100	0.01
⑬		
⑭		
⑮		

[計算の結果]

コンクリート1m ³ 当たりの全アルカリ量(kg/m ³)	③+⑥+⑨+⑫	2.24
国土交通省の規制値(kg/m ³)		3.00以下

判 定

